

岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

1 日時

令和3年11月30日（火） 10:00～

2 場所

岡崎市役所 西庁舎5階 501号室
（オンライン会議にて開催）

3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委員：名古屋大学准教授	井料 美帆 氏
委員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏
委員：名古屋市立大学准教授	三浦 哲司 氏

4 事務局

総合政策部企画課係長	鈴木 昌幸
総合政策部企画課主事	増澤 趣里
土木建設部道路建設課係長	都築 充
土木建設部道路建設課係長	津田 勝義
土木建設部道路建設課	和出 浩平
土木建設部道路建設課	浅井 祐美
土木建設部道路維持課係長	萩原 浩晃
土木建設部道路予防保全課係長	稲垣 篤志
経済振興部森林課係長	藤城 直尊

5 傍聴人

なし

6 委員会次第

(1) 開会

委員長選任

(2) 議事

・「人にやさしく、安全で元気に暮らせるまちづくり計画」事後評価

(3) 閉会

7 配布資料

- ・ 事業説明資料
- ・ 事後評価書

8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

9 議事内容

鈴木委員長	「人にやさしく、安全で元気に暮らせるまちづくり計画」の事後評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「人にやさしく、安全で元気に暮らせるまちづくり計画」の、計画の指標、実績、指標達成状況、評価について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
三浦委員	数値目標にある国策としての林業政策をわかりやすく説明していただきたいです。 林野庁として木材の有効活用に補助金を充てるようになったため、このような結果となったのですか。
事務局	平成 20 年代前半は京都議定書の第 1 期約束期間であり、日本としても間伐が義務化されていたが、京都議定書の第 2 期約束期間になると任意となり、木材自給率向上のため、切った木材を活用するようになりました。 平成 20 年代前半は間伐に補助金が重点配分されていたが、それ以降、木材の搬出に重点配分するようになっております。
井料委員	新規道路整備が車のすれ違いに掛かっているので表現について検討していただきたいです。（指標 2） 街路樹で調整に時間がかかった要因を教えてください。（計画全体の総合評価）
事務局	新規道路整備は経路選択になるため、表現の見直しをします。

	<p>街路樹は通過する方にとっては楽しめるが、沿線に住んでいる方は落ち葉等で切ってほしいと様々な意見があるため、調整に時間がかかり、事業が進まない状況です。</p>
中井委員	<p>歩道のバリアフリーの事業をしているのにも関わらず評価でバリアフリー化へのニーズが高まったという表現に違和感があります。(指標1)</p>
事務局	<p>高齢化やコロナ禍による通勤方法の変更及び散策機会の増加により歩道利用者が増加したことから、未整備の歩道に対する歩きにくさ等の利便性に対する不満も評価に影響したと考えられる。という表現へ変更します。</p>
鈴木委員長	<p>橋梁の進捗が思わしくないが、点検結果より緊急性が高くないので先送りにしているのか、それとも緊急性は高いが、予算が確保できないからできないのかどちらですか</p>
事務局	<p>今回の9橋は耐震化が必要な重要な橋梁に位置付けられているが、財源確保が非常に困難である。耐震化をしながら修繕もできるような手立てや修繕のタイミングを組み替えながら財源の確保を考えているが追い付いていないのが現状です。</p>

10 結果

この事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。